

科目名	スポーツツーリズム研究 2							年度	2026
英語科目名	Sport Tourism Study 2							学期	後期
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 スポーツビジネスコース 3年次	必/選	必	時間数	60	単位数	4	種別※	講義
担当教員	小松雅樹	教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロスポーツチーム		
【科目の目的】 本科目では、スポーツと観光のそれぞれの分野の特徴を融合させながら、地域発展に有益となるスポーツツーリズムプログラムの企画・運営を行う。スポーツツーリズムの活用によりどのようにビジターを呼び込み、地域との交流や環境への配慮を重視した地域活性化がいかんして実現出来るかを考えながら、ターゲット市場の分析や効果的な広報活動、イベント企画などに関する知識を身につけることを目的とする。									
【科目の概要】 来訪者の獲得や経済活性化に成功している地域事例を参考として、スポーツと観光のそれぞれの事業効果を融合させながら、将来的なスポーツ観光事業の可能性について考察を進める。また、スポーツツーリズムの学習を通じて、スポーツ産業全体の構造や動向、市場ニーズなどへの理解を深め、将来のキャリア形成における参考とする。									
【到達目標】 スポーツツーリズムの基本的な仕組みと利用上のメリット・デメリットについて理解します。また、身近で利用できるスポーツツーリズムサービスについて議論しながら、地域活性化や運動実施についてスポーツツーリズムの観点から提案出来ることを目指します。 到達目標 A: 地域特性と顧客特性の両面を把握し、明確な集客目的を設定した上でターゲット層を特定することが出来る。 到達目標 B: プログラム規模や内容に応じた適切な予算を想定し、資金計画を策定することが出来る。 到達目標 C: 参加者や観客のアクセスや利便性、安全性を考慮した適切な会場や施設の検討・選定が出来る。 到達目標 D: 効果的な参加者募集のためのソーシャルメディアを活用した情報発信など、適切な広報活動を展開することが出来る。 到達目標 E: 安全な環境確保や緊急時の対応に配慮したプログラムを計画することが出来る。									
【授業の注意点】 学生間および教員とのコミュニケーションを重視します。課題等を通じて積極的に参加することで、主体的に授業に取り組んでください。また、社会の動きを観察しながら、スポーツツーリズムを活用した身近な問題の解決方法を考えましょう。なお、授業時間数の4分の3以上を出席しない学生は成績評価を受けることが出来ません。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	明確な集客目的を設定した上でターゲット層を特定し、適切な方針や戦略に沿って集客が出来る。		地域特性と顧客特性の両面を把握し、明確な集客目的を設定出来る。		到達目標の達成度として不十分				
到達目標 B	プログラム規模や内容に応じた適切な予算を想定し、円滑な運営のための資金調達計画と収支管理を行うことが出来る。		プログラム規模や内容に応じた適切な予算を想定することが出来る。		到達目標の達成度として不十分				
到達目標 C	参加者や観客のアクセスや利便性、安全性を考慮した適切な会場や施設の確保手続きや使用交渉が出来る。		参加者や観客のアクセスや利便性、安全性を考慮した適切な会場や施設の検討・選定が出来る。		到達目標の達成度として不十分				
到達目標 D	ターゲット市場に向けた宣伝や広告、ソーシャルメディアを活用した情報発信など、適切な広報活動を展開することが出来る。		効果的な参加者募集のためのターゲット市場に向けた宣伝や広告、ソーシャルメディアを活用した情報発信など、検討することが出来る。		到達目標の達成度として不十分				
到達目標 E	万が一のトラブルや災害を予測して、安全な環境確保や緊急時の対応に配慮したプログラムを実行することが出来る。		安全な環境確保や緊急時の対応に配慮したプログラムを計画することが出来る。		到達目標の達成度として不十分				
【教科書】 授業に必要な教材資料等については教員にて準備・配布する。参考書等を使用する場合には授業内にて指示する。□									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 成績評価については、筆記もしくはレポートによる試験結果（中間/期末/定期的な提出物など）30%、授業中の参加姿勢/学習意欲（リーダーシップ、積極性、学習に対する向上努力など）30%、出席状況40%とし、授業内における達成度・到達度を総合的に判断して行います。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		スポーツツーリズム研究2			年度	2026
英語表記		Sport Tourism Study 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	イントロダクション	授業目的の説明と担当グループ分け	1 プログラムの目的	プログラム設計におけるポイントの整理と理解	2	
			2 プログラム内容の設定	具体的なプログラム内容の検討		
			3 作業工程の設定	計画的なプログラム企画・運営スケジュールの設定		
2	プログラム内容に沿った地域情報収集とスポーツ種目の検討	プログラム企画準備	1 プログラムの目的	プログラム設計におけるポイントの整理と理解	2	
			2 プログラム内容の設定	具体的なプログラム内容の検討		
			3 作業工程の設定	計画的なプログラム企画・運営スケジュールの設定		
3	プログラム内容に沿った地域情報収集とスポーツ種目の検討	プログラム企画準備	1 プログラムの目的	プログラム設計におけるポイントの整理と理解	2	
			2 プログラム内容の設定	具体的なプログラム内容の検討		
			3 作業工程の設定	計画的なプログラム企画・運営スケジュールの設定		
4	スポーツツーリズムプログラムの企画	プログラム企画	1 プログラム内容の具体化	プログラム企画・運営に向けた情報収集・調査	2	
			2 プログラム内容の検討	情報整理と調査結果に基づくプログラム内容の検討		
			3 プログラム実施方法の検討	情報整理と調査結果に基づくプログラム実施方法の検討		
5	スポーツツーリズムプログラムの企画	プログラム企画	1 プログラム内容の具体化	プログラム企画・運営に向けた情報収集・調査	2	
			2 プログラム内容の検討	情報整理と調査結果に基づくプログラム内容の検討		
			3 プログラム実施方法の検討	情報整理と調査結果に基づくプログラム実施方法の検討		
6	スポーツツーリズムプログラム企画内容の確認	プログラム企画	1 プログラム内容の具体化	プログラム企画・運営に向けた情報収集・調査	2	
			2 プログラム内容の検討	情報整理と調査結果に基づくプログラム内容の検討		
			3 プログラム実施方法の検討	情報整理と調査結果に基づくプログラム実施方法の検討		
7	スポーツツーリズムプログラム企画内容の最終調整	プログラム企画・運営準備	1 プログラム内容の具体化	スポーツツーリズム企画・運営に向けた情報収集・整理に基づく最終案の決定	2	
			2 プログラム内容の検討			
			3 プログラム実施方法の検討			
8	スポーツツーリズムプログラム運営に向けた最終調整	プログラム運営の準備	1 プログラムに関わる広報作業	参加者募集の告知内容の決定と情報発信	2	
			2 プログラムに関わる器材調達	プログラム実施に必要な器材調達		
			3 プログラムに関わる施設確保	プログラム実施に関わる施設使用確認と確保		
9	スポーツツーリズムプログラムの運営に関わる準備	プログラム運営の準備	1 プログラムに関わる広報作業	参加者募集の告知内容の決定と情報発信	2	
			2 プログラムに関わる器材調達	プログラム実施に必要な器材調達		
			3 プログラムに関わる施設確保	プログラム実施に関わる施設使用確認と確保		
10	スポーツツーリズムプログラムの運営に関わる準備	プログラム運営の準備	1 プログラムに関わる広報作業	参加者募集の告知内容の決定と情報発信	2	
			2 プログラムに関わる器材調達	プログラム実施に必要な器材調達		
			3 プログラムに関わる施設確保	プログラム実施に関わる施設使用確認と確保		
11	スポーツツーリズムプログラムの運営に関わる準備	プログラム運営の準備	1 プログラムに関わる広報作業	参加者募集の告知内容の決定と情報発信	2	
			2 プログラムに関わる器材調達	プログラム実施に必要な器材調達		
			3 プログラムに関わる施設確保	プログラム実施に関わる施設使用確認と確保		
12	スポーツツーリズムプログラムの運営・実施	プログラムの運営	1 参加者対応	参加者とのコミュニケーションおよび安全に配慮した誘導	2	
			2 プログラム進行管理	企画内容に沿った適切なプログラムの運営		
			3 展示の限界点と改善点の理解	来場者からのフィードバックに基づくプログラム評価と成果に対する改善点の明確化		
13	スポーツツーリズムプログラムの運営・実施	プログラムの運営	1 参加者対応	参加者とのコミュニケーションおよび安全に配慮した誘導	2	
			2 プログラム進行管理	企画内容に沿った適切なプログラムの運営		
			3 企画・運営の評価	プログラム成果に対する自己評価と来場者からのフィードバック収集		
14	プログラム実施後の改善点の確認	プログラムの評価と改善	1 参加者対応	プログラム成果に対する評価と改善点の明確化	2	
			2 プログラム進行管理	プログラム成果に対する評価と改善点の明確化		
			3 企画・運営の限界点と改善点の理解	プログラム成果に対する評価と改善点の明確化		
15	プログラム実施後の改善点の確認	プログラムの評価と改善	1 参加者対応	プログラム成果に対する評価と改善点の明確化	2	
			2 プログラム進行管理	プログラム成果に対する評価と改善点の明確化		
			3 企画・運営の限界点と改善点の理解	プログラム成果に対する評価と改善点の明確化		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等